

高病原性鳥インフルエンザの発生に備え万全の準備

高病原性鳥インフルエンザは、昨シーズン14道県で51事例が発生し、今シーズンもすでに北海道と新潟県において3事例を確認、さらに北海道や宮崎県では、野鳥の糞などからウイルスが検出されるなど、全国的に予断を許さない状況が続いています。

当センターでは、府内で高病原性鳥インフルエンザが発生した場合に備えて、センター内で備蓄している「消毒ポイント用の動力噴霧器」の動作点検を行い、不具合のあったものについては早急に修繕措置をとるなど、万全の準備を整えています。

今後も警戒感を持って発生防止対策を徹底するとともに、府内の防疫資材備蓄基地として万全の準備を整えてまいります。



動力噴霧器の動作点検



点検のため並べられた備蓄動力噴霧器

畜産センター